

ポリ製アライナーで、目立たず快適に

最新の矯正歯科治療ツール

シリーズ・歯の健康相談

近ごろは、目立ちにくい装置や歯の裏側からの歯科矯正治療が普及し、大人にも矯正治療が一般的になってきました。今年の2月から、コンピュータシミュレーションされた歯の移動を、透明なポリエチレンシートに再現し、これを順々に装着することで歯の移動を行う、「インビザライン(Invizalign)」(米国アラインテクノロジ社)というシステムが、正式に日本でも導入。今回は、この最新の治療ツールについて、ほりい矯正歯科クリニックの堀井和宏さんに詳しく聞いてみました。

インビザラインって
(どうやって作るの)?

まず、患者の歯の型を取り、この型をスキャニングしたデータをもとに治療プランを立て、コンピュータ上で矯正治療による歯の移動をシミュレーションします。

その結果から、歯が約0.2mmずつ移動するよう10~50段階程度に分けて、これに合致した厚さの約0.3mmの透明なマウスピース状のポリエチレンシート「アライナー」を作成します。治療プランの立案には高度な技術が

必要。また、患者の治療を担当する歯列矯正医と、カリフォルニアにあるアラインテクノロジ社の米国人歯列矯正医の両者が、ウェブ上で治療方針の相談をしてからプランを立てています。

治療の進め方は?
アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。

アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。

インビザラインって

その結果から、歯が約

必要。また、患者の治療

とほぼ同様に、外見上は

ある人には最適な治療法

まず、患者の歯の型を取り、この型をスキャニングしたデータをもとに治療プランを立て、コンピュータ上で矯正治療による歯の移動をシミュレーションします。

その結果から、歯が約0.2mmずつ移動するよう10~50段階程度に分けて、これに合致した厚さの約0.3mmの透明なマウスピース状のポリエチレンシート「アライナー」を作成します。治療プランの立案には高度な技術が

必要。また、患者の治療を担当する歯列矯正医と、カリフォルニアにあるアラインテクノロジ社の米国人歯列矯正医の両者が、ウェブ上で治療方針の相談をしてからプランを立てています。

治療の進め方は?
アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。

アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。



治療の内容により、上下それぞれ、片側のみを作成
▲アライナーの着け外しは、とても簡単。口内の違和感もあまりないそうです



ほりい矯正歯科クリニック 堀井和宏さん

どのような不正咬合の治療に適しているの?
前歯の間のすき間を閉じるケースや、軽度の叢生(そうせい・乱ぐい歯)など。歯の移動量が少なく、従来の矯正装置を装着することに抵抗がある人には最適な治療法と言えます。ただ、基本的には永久歯列が完成している人が対象となり、成長を利用して行う歯科矯正は、従来の矯正装置を使用した方がよい結果が得られます。

アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。

アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。

アライナーを2~3週間ごとにつけ替えてゆくと、歯の移動を行います。アライナーは飲食時にはずしますが、最低でも1日22時間装着することが必要となります(外食の機会が多い人は少し大変な治療法かもしれません)。